

第一回 先端アクチュエータ・システムの設計と応用に関する研究分科会

■趣意

航空機や自動車には、推進力を発生させるためのエンジンは勿論のこと、多数存在する可動部に対して大小様々なアクチュエータが使用されている。装置・機器開発の成否は、使用されるアクチュエータに左右されるといって過言ではない。当分科会では、先端アクチュエータ・関連システムを研究開発している研究機関を訪問し見学・討論をすることによって、当該領域の現状を理解するとともに次世代アクチュエータ技術を予測することを目指す。今回の分科会はその第一回で、名古屋大学で開催される。

■開催日

平成 27 年 8 月 4 日 (火)

■場所

名古屋大学 (名古屋市千種区不老町) 大学院情報科学研究科棟 (一階) 第一講義室

■時間・内容

13:00~13:40 名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授 大岡 昌博

「インフォメーション工学の提案 アクチュエータ・センサ・情報の融合と展望」

13:40~14:20 名古屋大学 工学研究科 教授 新井 史人

「マイクロ流体システムに使われる先進駆動・計測技術」

14:20~15:00 名古屋大学 工学研究科 助教 岡本 正吾

「最近の触感ディスプレイ技術」

15:00~15:10 休憩

15:10~15:50 豊田工業大学 工学部 教授 古谷 克司

「駆動電流による圧電アクチュエータの発生力の推定法」

15:50~16:30 名古屋大学 工学研究科 講師 高木 賢太郎

「電場応答性高分子アクチュエータの発展と応用：IPMC と DE を中心に」

16:30~18:00 大岡、新井、岡本研究室の見学 三班程度に分けて順にめぐります。

■懇親会

18:00~19:00 懇親会 第二講義室

■参加申し込み（締め切り平成 27 年 7 月 28 日）

大岡 ohka@is.nagoya-u.ac.jp に以下の申し込み書をお送りください。

第一回 先端アクチュエータ・システムの設計と応用に関する研究分科会に

御氏名：

御所属：

分科会講演会： 出席 欠席 （該当しない方を消してください）

懇親会(3000 円)： 出席 欠席 （該当しない方を消してください）

■ URL：<http://www.ohka.cs.is.nagoya-u.ac.jp/~ohka/>

■名大情報科学研究科の場所

以下の地図の A-4 の位置で、8 回建ての建物です。

会場の第一講義室は 1 階にあります。

